



令和元年 5 月 23 日

**LGBT の子どもはライフプランを持つことができるのか？**  
**「ライフプランを考えるあなたへ**  
**—まんがで読む— 未来への選択肢（拡大版）」を作成**

岡山大学大学院保健学研究科では、中学・高校生に、「年齢と妊娠しやすさとの関連」「体外受精などの不妊治療の実際」を知り、後悔しないライフプランを考えてもらうため、岡山県からの受託事業で、2015 年、妊孕性の啓発のための教材「**ライフプランを考えるあなたへ—まんがで読む— 未来への選択肢**」（緑の表紙）を作成しました。

しかし、そのような中学・高校生の約 8%は、LGBT（L：レズビアン、G：ゲイ、B：バイセクシュアル、T：トランスジェンダー）の子どもとされます。海外では、トランスジェンダー（身体は女性、心は男性）の子どもが将来の妊娠に向けて、ホルモン療法の前に卵子を凍結保存した例もあります。

日本においても、2015 年の文部科学省の通知以降、LGBT の子どもたちへの支援が始まりました。しかし、不登校、自殺未遂、うつなどを防止するための対応に終始しており、LGBT の子どもたちが、自身の将来のことを考えて、仕事をしながら結婚したり、子どもを持ったりというようなライフプランを考えることまではできていない状況です。また、2018 年夏の「LGBT は生産性がない」という雑誌記事に見られるように、誤った情報に子どもたちは晒されています。

今回、私たちは、LGBT の子どもたちのために、「**ライフプランを考えるあなたへ—まんがで読む— 未来への選択肢（拡大版）**」（クリーム色の表紙）を作成しました。LGBT の子どもにとって、自身の将来像を考えることができれば、学校における最大の支援のひとつになると思います。

拡大版では、従来版では述べられなかった「性の多様性と家族形成」についても加えました。LGBT の子どもにとって、今、目の前の問題を解決することも重要ですが、将来のライフプランを考えることができることも必要です。さらに多くの人々が手に取ってくれることを願います。

<発表内容>

「卵子の老化」という言葉が社会的に注目されるようになり、妊娠を希望して不妊治療を始めたときには、高齢で妊娠しにくくなっており、後悔するというようなことがないように、「年齢と妊娠しやすさとの関連」「体外受精などの不妊治療の実際」など、妊孕性（妊娠しやすさ）に関する啓発が行われています。岡山大学大学院保健学研究科では、中学・高校生の時代からライフプランを考えてもらうため、岡山県からの受託事業で、2015 年、妊孕性の啓発のための教材「**ライフプランを考えるあなたへ—まんがで読む— 未来への選択肢**」（緑の表紙）を作成しました。この冊子は、現在、岡山県下の学校で配布されています。

しかし、この本を作成した時に、気がかりなことがありました。この本を読む中学・高校生の約 8%は、LGBT（L：レズビアン、G：ゲイ、B：バイセクシュアル、T：トランスジェンダー）の子どもとされます。しかし、この冊子の中では、LGBT 当事者が子どもを持つことに関しては描かなか



## PRESS RELEASE

ったことです。海外では、トランスジェンダー（身体は女性、心は男性）の子どもが将来の妊娠に向けて、ホルモン療法の前に卵子を凍結保存した例も見られています。しかし、日本のLGBTの子どもたちがそのようなことまで知っているのでしょうか？

2015年の文部科学省の通知以降、日本においてもLGBTの子どもたちへの支援が始まりました。しかし、不登校、自殺未遂、うつなどを防止するための対応を行うことに終始しており、LGBTの子どもたちが自身の将来のことを考えて、仕事をしながら結婚したり、子どもを持ったりというようなライフプランを考えることまではなされていない状況です。

2018年夏の「LGBTは生産性がない」という雑誌記事に見られるように、誤った情報に、学校の教員も子どもたちも晒されています。今回、私たちは、LGBTの子どもたちのために、「**ライフプランを考えるあなたへ** —まんがで読む— **未来への選択肢（拡大版）**」（クリーム色の表紙）を作成しました。この拡大版では、従来版では述べなかった「性の多様性と家族形成」についても、まんがのストーリーとして加えました。全ての子どもにとってそうであるように、LGBTの子どもにとっても、自身の将来像を考え、未来への光が見えるように支援することは、学校における最大の支援のひとつになると思います。

見えないけれども、学校の中に約8%存在しているとされるLGBTの子どもたちはもちろんのこと、周囲の子どもたち、学校の教員や保護者の方々には、ぜひ一度、この冊子を手にとってくれることを願います。

### 資料

- ・ライフプランを考えるあなたへ —まんがで読む— 未来への選択肢（拡大版）
- ・ライフプランを考えるあなたへ —まんがで読む— 未来への選択肢（従来版）

### ◆研究者からのひとこと

岡山大学ジェンダークリニックで性同一性障害の方々の診療を行っています。2018年度は、岡山市の男女共同参画委員会の委員長として「性の多様性」を認める条例づくりにも取り組みました。

GID（性同一性障害）学会理事長として、性同一性障害当事者の戸籍の性別変更のための特例法の改正、性同一性障害のホルモン療法の保険適用などの課題解決に向かって活動中です。その中には「LGBT当事者の家族形成」への支援があります。



岡山大学大学院保健学研究科 研究科長  
岡山県不妊専門相談センター「不妊・不育ところの相談室」 センター長  
岡山大学病院リプロダクションセンター センター長  
岡山大学生殖補助医療技術教育研究（ART）センター 教授  
中塚幹也



＜お問い合わせ先＞

岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室

教授 中塚幹也

(電話番号) 086-235-6538 (FAX兼)



岡山大学  
OKAYAMA UNIVERSITY



岡山大学は、国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」を支援しています。

**PRESS RELEASE**



岡山大学  
OKAYAMA UNIVERSITY